



インフルエンザワクチンは高齢者の優先接種呼びかけへ！

厚生労働省は、**65歳以上の高齢者で接種を希望する人は例年通り10月1日から**の接種開始に向けて呼びかけます。**医療従事者や65歳未満の基礎疾患を有する人、妊婦、乳幼児から小学校低学年（小学校2年生）には10月後半から**接種を希望する人への接種を呼びかける考えです。インフルエンザワクチンは予防接種法上、行政から対象者に接種勧奨を行う対象ではなく、呼びかけは接種を希望される人が対象となっています。具体的には、接種する人が最終的に判断することとなっています。



新型コロナとインフルの同時流行を見据え…

今冬の新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を見据え、厚生労働省は65歳以上の高齢者や医療従事者に優先的なインフルエンザの予防接種の呼び掛けをしていく事と決められました。

《 新型コロナウイルスとインフルエンザの違いは・・・ 》

新型コロナウイルス⇒新型コロナウイルス感染症は新型コロナウイルスに感染することによって起こる呼吸器疾患で、インフルエンザと違ってまだワクチンが開発されていない為、手洗いやマスク着用による予防が最善の策となる。治療には抗ウイルス剤「レムデシビル」などを使用するが、今はまだ重症患者に限って処方されている。

インフルエンザ⇒インフルエンザウイルスによる疾患で、急な高熱や全身の強い筋肉痛といった症状が現れる。インフルエンザウイルスは大きくA型・B型・C型に分けられるが、主に人に流行するのはA型とB型。異変が起きやすく、大流行の可能性が高いのはA型である場合が多い。ワクチンがあるため、予防接種をできるだけ接種するのが望ましい。治療薬も一般的に使用されており、インフルエンザと診断されれば病院で処方を受けられる。

インフルエンザワクチンを接種しても風邪や新型コロナウイルスの予防になるわけではないです。引き続き手洗い・うがい・マスク着用は継続しましょう。



《 新しい仲間が増えました！ 》



看護師の丹羽千春です。

利用者様・ご家族に寄り添い、

安心してご自宅で過ごせられる

よう、お手伝いをさせていただきます。

精一杯頑張りますので、

よろしくお願い致します。



ハロウィンのかぼちゃ、ジャック・オー・ランタンとは？



ハロウィンのシンボルとしてよく目にするのが、目と口と鼻をくり抜いて中にキャンドルを灯したかぼちゃのランタン。実はこのランタンには、「ジャック・オー・ランタン」という名前がついているのをご存知でしたか？ジャックとは、アイルランドの物語に登場する男の名前。生前、悪い事ばかりをしていたジャックは、魂を取ろうとやってきた悪霊を騙したため、地獄に墜ちることもできず、死んだ後もランタンに火を灯して闇夜

を歩き続けたというお話です。ちなみに最初にかぶでしたが、アメリカにハロウィンが伝わってからかぼちゃになったそうです。「ジャック・オー・ランタン」は、日本でいう鬼火のような存在。怖い顔にくり抜いて部屋の窓辺などに飾ると魔除けの役割を果たし、悪霊を怖がらせて追い払えるそうです。



ケアフル

訪問看護リハビリステーション

☆お気軽にお問合せください☆

TEL 0574-49-7570
FAX 0574-49-7571

岐阜県美濃加茂市川合町2丁目7-211